

令和四年度 作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部

入学式 式辞

桜の花が咲き誇るこのよき日に、作新学院大学並びに作新学院大学女子短期大学部に入学された新入生のみなさん、おめでとうございます。

現在、約二年にわたる新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、依然警戒していかなければならない状況にあることから、やむを得ず今年度も保護者の皆様にご遠慮いただきユーチューブの動画配信とし、また式を簡略な形で挙行することとなりました。何卒ご理解いただければと考えております。

さて、新入生のみなさんは、この清原のキャンパスから、大学院生・大学生、短大生として第一歩を踏み出すことになるわけです。みなさん一人一人が、学生としての自覚と責任をもって学び、行動していく上で、まず理解していただきたい点は、本学の「作新民」という建学の精神です。

もともと「作新」という名称は、中国の古典『大学』に由来するものであり、現代的に訳せば、自己を日々新しくする民（たみ）の育成を意味しています。すなわち「作新民」とは、自ら主体的に考え、知識を行動につなげ、心豊かな人間として自己を日々変革していくことによって、目の前に次々と生じる課題を的確に解決していく生き方とその育成をめざすということです。また、この建学の精

神は、本学の「自学・自習」「自主・自律」という教育理念にも相通じる考え方です。

さて現在は、不透明かつ不確実な時代であるといわれますが、コロナ感染症や東北の大震災、さらにロシアのウクライナ侵攻に象徴されるように、世界のさまざまな場所で大規模な自然災害や感染症あるいは紛争など、想定外のこと日本も含めて現在起きていますし、今後も起こってくるのが予想されます。また一方では、AI（人工知能）などの技術革新やSDGsなど持続可能な社会を構築していくというムーブメントが起きています。そうした時代に対応するために、みなさんはこの「作新民」という建学の精神と「自学・自習」「自主・自律」という教育理念をこれからの学びや生活の指針として、心にしっかりと留めながら、主体性と創造性を発揮し、また「地球市民」という意識を多少でも持つて大学生活を送っていただければと思います。

これからみなさんは、本学において、人間性を育み将来の夢の実現のために必要とされる幅広い教養と専門的な知識や技術を学ぶこととなります。「学ぶ」ということは本来楽しいものであり、連続的なものです。批判的精神を持って次々と疑問がわき、それが解決できたときのうれしさをぜひたくさん味わってください。また、多くの人たちと語り合い、学び合うことにより、さまざまな考え方があれることを再認識するとともに、新たな価値を創造していった下さい。さらに、これからの長い人生の中で、自分はどのような存在で

あり、何に向かって進んでいくべきなのかなど、じっくりと自己理解を深めていってもらいたいと思います。

こうしたみなさんの学びの実現のために、我々教職員は、感染予防対策を徹底しながら、安全・安心を第一に考え、授業や様々な行事や活動において、これまでの経験と反省を踏まえながら充実したものを皆さんに提供し、全面的に支援して参ります。

また、本学では、みなさんの夢を叶えるために、さまざまな免許や資格を取得できるプログラムが数多く用意しています。こうした免許・資格の取得をはじめ、ボランティア活動やインターンシップといった社会活動、あるいは学生が自主的に取り組む課外活動やサークル活動といった学外における様々な活動にも積極的に挑戦して、多くの人間と交流しながら自分の可能性を広げていってもらいたいと思います。

結びに、本学は、自然環境にも恵まれ、明るく自由な雰囲気の中で教育と研究が行なわれ、在学生も活発に活動しています。ぜひみなさんも、本学のこの自由の精神と実学の精神が溢れる中で、学問に勤しみ、実践知を蓄え、夢の実現に向けて果敢に挑戦する人間として成長していくことを教職員一同心から大いに期待し、式辞と致します。

令和四年四月五日

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部

学長 渡邊 弘